

6. ジョーク、お笑い

優越説(superiority theory) スレの理論(schema theory) 放出説(tension theory)

WXDY 構文 (7) Waiter, waiter, what's this fly doing in my soup? I believe it's the backstroke, sir.

ママ:メロン君、ゴミだしといてくれる？

メロン君:はい(^O^)/ (ゴミをゴミ袋から出し始める)

ママ:えっ何しているメロン君！もっと頭を使ってよ！

メロン君:ええっ... わかった(頭でゴミを出し始める)

ママ:もうっ！

メタファーがジョークになる例

(夫のことを不細工であると言いながら、宝部夫人が)「まあね、どんな不キリョウな犬でも、飼い慣れれば、可愛くなるようなもので」

- このメタファーの写像を書き、どこが面白いかが指摘してください。
- この面白さはジョークの3つの説のどれに当たるか検討してください。
- 聞いた婚約者の両親は「本当にそうですわね」と応じたが、どこか不適切か論じてください。

参考文献

梅原猛 (1972) 『笑いの構造』 角川選書

小泉保 (1997) 『ジョークとレトリックの語用論』 大修館書店

鍋島弘治朗(2009) 「お笑いと言語学」 『月刊言語』10月号

木村洋二(編)2010 『笑いを科学する』 新曜社

福森雅史・森山智浩(2014) 「漫才と人間の認識 --「大木こだまひびき」における職人話芸への認知言語学的アプローチ」 『近畿大学文芸学部論集』Vol.26, No.1: 120-76